

ライオン大阪工場

アカウミガメの保護活動を今年も実施

ライオン大阪工場では、「NPO法人日本ウミガメ協議会(松沢慶将会長)」「みなべウミガメ研究班(尾田賢治会長)」と協働し、2010年から和歌山県みなべ町にて絶滅危惧種「アカウミガメ」の卵保護活動、砂浜清掃活動を行っており、活動開始から10年目を迎えた今年も「アカウミガメ」の産卵シーズンの7月19日より、2019年の活動をスタートした。

和歌山県みなべ町千里も浜海岸は、IUCN Red Listで絶滅危惧種に指定される「アカウミガメ」の本州最大の産卵地で、大阪府堺市で洗剤等を製造するライオン大阪工場では、2000年代後半にウミガメの卵や子ガメが野生のタヌキに襲われる食害が深刻化していたことをきっかけに、2010年から「NPO法人日本ウミガメ協



議会」や「みなべウミガメ研究班」と連携し、ウミガメの保護・調査活動を開始している。工場の技術・資材を用いて、防護柵や竹網の製作、設置方法

ポーラ エステサービスを刷新

ポーラは10月1日、現在も未来も美しくありたい現代女性に向けて、エステサービスを刷新し、表情豊かでイキイキとした魅力ある美しい人を目指す11メニュー(各1回、3700~1万5000円、トライアル含む)を取り揃えた。全国のポーラエステ取扱ショップ(百貨店を除く限定店舗のみ)にて展開する。

同社のエステは、一過性のケアのためではなく、将来の自分の可能性に投資したいという現代女性のマインド変化とともに、美の資産を作るエステに進化し、「サスティナブルビューティー」を提供する。

刷新したエステの特長は「美のコアを高める、

系。の保全に努めており、53人の社員が参加している。また同海岸では、ゴミの回収も行い、海浜生態28回となり、延べ187月20日には、産卵さ

れたウミガメの卵の位置を確認し、砂中に防護柵を埋設したという。



筑波大学 人文社会系教授

黄順姫氏



高麗大学教育大学院時代の恩師が九州大学で教育社会学を学んでいたことが縁で、1983年に来日した。その後、黄氏は九州大学で教育学研究科教育社会学の博士課程を修了し、1991年12月に筑波大学に着任した。研究分野は教育社会学・文化社会学・ス

化粧・ファッションの研究書が

発刊2カ月で初版完売のヒット

「化粧品の先端テクノロジーを活かした美肌トリートメント」の2つで、新たにポーラオリジナルの複合保湿成分を配合したほか、低周波トリートメント・超音波洗浄などのエステ機器を導入。さらに、幅広いメニュー構成の中から顧客のなりた

からみる国内外の化粧品メーカーの化粧品広告イメージ戦略を比較分析し、図表を用いた実証研究の考察などを詳細にまとめている。「広告のキャッチコピーでは、アメリカがSPFなど科学的な用語を用いて説明するのに対し、日本では美しいポエムのような感性に訴えかけるイメージのものが多く、モデルの顔の雰囲気に関しては、日本が可愛らしい顔のモデルを起用する企業が多いのに対し



(禁無断転載) ©R 本紙の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、堅く禁じられています。 本紙からの複写を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY) (03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。